

【共通教育推進機構】令和7年度 教学マネジメント報告書

3つのポリシーに基づいた学修者本位の教育の実現に向けて、学部教学マネジメントに関する以下の観点について各学部で計画・実行・検証し、次年度以降の改善に繋げることとする。

1. 共通教育推進機構の方針 ※計画書から変更があった場合

計画書からの変更なし

2. 教学マネジメントの組織体制の変更点 ※計画書から変更があった場合

計画書からの変更なし

3. 全学共通カリキュラムの編成や実施等運営に関する今年度の取り組み結果および次年度に向けて取り組む課題

今年度の取り組み結果

<全学共通教育センター>

- ・人間科学教育カリキュラムにおいて、現代社会において理解すべき事象や解決すべき課題を14のテーマとして再構成した新カリキュラムについて、令和7年度より運用を開始した。
- ・DE&I及び人権にかかわる教育の充実に向けた検討を進め、令和8年度から新規科目「ジェンダー平等と多様性」を開講することを決定した。
- ・言語教育カリキュラムにおいて、日本語を除くすべての言語で一定水準の教育内容が保証されるよう、別科目の扱いだった科目を同一の開講科目とする新カリキュラムを編成し、令和7年度より運用を開始した。

<教職課程教育センター>

- ・教員採用試験の早期化・複線化への対応について、前年度に引き続き、志願者作成指導、教員採用試験の分析・受験準備の示唆、筆記試験対策、人物試験・論作文対策、教員採用試験模試を実施した。これらの取り組みにより、学生一人ひとりの希望進路や各自治体の実情に即した、きめ細かな支援を行った。その結果、教員採用試験の現役合格率は44.6%（令和7年12月3日時点）となり、令和6年度実施分（過去最高54.4%）には及ばないものの、一定の成果を上げた。
- ・文化学部の学科改組に伴い、文化構想学科における教職課程について、関係部署と調整のうえ、変更届を文部科学省へ提出した。

<キャリア教育センター>

- ・インターンシップ系科目について、履修者状況および社会動向を踏まえ、適切なクラス数の見直しを行い、教育資源の効率化を図った。
- ・キャリア教育の方向性検討のためのアンケートを実施し、今後の教育内容改善に向けた基礎データを収集した。

<初年次教育センター>

- ・「批判的思考と論理的表現」において、FD 活動を通じて授業運営・評価方法に関する教員間の共有を図り、授業改善を推進した。
- ・初年次教育科目の履修者数増加に対応するため、小委員会を設置し、適切な定員設定・クラス編成について検討を行い、改善案を取りまとめた。

【今年度の取り組みを通して明らかになった課題】

- ・人間科学教育科目において、令和7年度から新カリキュラムの運用を開始したことを踏まえ、今後は履修状況や科目群の構成について継続的に点検を行い、各種会議体において教育内容および履修構造の妥当性を検証していく必要がある。
- ・言語教育科目において、学生の履修動向を踏まえた適切なクラス配置を行うとともに、新たなカリキュラムの下で提供される教育内容の適切性について、検証を進めていくことが求められる。
- ・教員採用試験において、試験の早期化・複線化および共通問題の実施といった制度変更が進む中、これらに対応した支援体制のさらなる充実を図るとともに、学生の多様な進路選択に対応した支援体制の強化が求められる。
- ・キャリア教育において、履修者の減少傾向を踏まえた教育内容の再設計が求められる。
- ・初年次教育において、授業内容および評価方法の標準化と、履修者増加に対応した運営体制の最適化が必要である。

次年度に向けて取り組む課題

<全学共通教育センター>

- (1) アントレプレナーシップ学環の開設及び文化学部学科改組に伴う設置計画の確実な履行
- (2) 人間科学教育カリキュラムにおける14テーマの履修状況の検証
- (3) 全学必修英語カリキュラムにおける教育内容の検証
- (4) 言語教育カリキュラムにおける教育内容の検証
- (5) 体育教育カリキュラムにおける開講科目の検討

<教職課程教育センター>

- (1) 教職課程の自己点検・評価報告書の完成
- (2) 再課程認定に向けた教職課程の体制整備の推進
- (3) 教員採用試験の早期化・複線化に伴う支援体制の充実及び多様な進路選択に対応した支援体制の強化

<キャリア教育センター>

- (1) 入学前～初年次におけるキャリア意識の醸成と入学者確保への寄与（入口の強化）
- (2) 卒業直前期における社会に出る準備支援の在り方の検討（出口の強化）

<初年次教育センター>

- (1) 授業内容の質保証と履修環境（定員等）の最適化

4. 機構における教学マネジメントの組織体制を踏まえた教員組織の編制方針の見直しの状況

評価（該当する番号にチェック）

- ☐ ①機構における教学マネジメントの検証体制を踏まえて実施できた。

- ☐ ②機構における教学マネジメントの検証体制を一部踏まえて実施できた。
- ☐ ③機構における教学マネジメントの検証体制を踏まえた実施ができなかった。
- ②もしくは③を選択した場合はその理由を自由記述欄に記入

自由記述欄

全学カリキュラム委員会ならびに教員会議にて審議の流れを説明し、現状のままとした。

※この内容は、本学における教学マネジメントの一環として、本学 HP へ掲載します。